

第2回須坂市学校給食センター運営委員会会議録

- I 日 時 2021年2月24日(水) 午後1時30分～3時00分
- II 場 所 須坂市(新)学校給食センター2階会議室
- III 出席者 【運営委員】坂口孝夫委員 青木宏道委員 浜岡一美委員
高波佳美委員 鈴木真理子委員 山田千秋委員 青木文美委員
久保千春委員
【事務局】 小林教育長 関教育次長 清水課長
北堀所長 村石所長補佐 古平栄養教諭 小林栄養教諭
堀内管理栄養士
(株)ジーエスエフ 齋藤総括

IV 内 容

1. 開 会 …北堀所長 (進行:北堀所長)

開会に先立ちこの会の委員でPTA連合会会長の鈴木さんが、不慮の事故で2月6日にお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

2. あいさつ …小林教育長

PTA連合会の鈴木さんが先にお亡くなりになりました。鈴木さんには1月18日のこの新しい給食センターのしゅん工式にもご出席いただき、内部も見ていただいたことが記憶に新しく、印象に残っています。ご冥福をお祈りいたします。

今年は、コロナの影響で活動が制約されていますが、運営委員の皆様には何かとご協力いただき、ありがとうございます。

給食センターが新しくなると、大きく2つの点が変わります。1つは、温かい給食が、より温かく学校へ届きます。2点目はアレルギー対応食の提供が始まります。

先日も、県立こども病院の小池先生から、食物アレルギーについてのご講演をいただきました。

現センターからの提供が後わずかになりました。栄養教諭で素晴らしい教育動画を作製しました。後で見させていただきますが、学校で見た子ども達からは、感謝の気持ちを表した感想やコメントなどが寄せられています。一部を後ろの机に並べてありますのでご覧ください。

それでは本日の議題について、協議をお願いいたします。

3. 会議事項 (進行:浜岡会長)

(1)2020年度学校給食センターの事業について(報告)

村石所長補佐:資料1、別紙1・2について説明。

小林栄養教諭:パワーポイントにより、須坂市の食育活動の取り組みについて説明。

浜岡会長:委員に発言を許したがなく、以上で(1)を終結した。

(2) 2021 年度学校給食用物資納入業者の指定について

村石補佐：資料（様式第 4 号）と「須坂市学校給食用物資納入業者指定要綱」をもとに説明。申請のあった全ての業者について、「須坂市学校給食用物資納入業者指定要綱」第 3 条の（指定基準）を満たし、現在の納品も問題なく行われているため、指定を適用したい。

浜岡会長：委員に発言を許し、青木宏道委員より、指定業者の中から納品する業者を決定する方法について質問があった。

村石補佐：指定業者の中で種類ごとに入札を行い、金額と納品方法や品質などで、納品する業者を決定すると説明。

浜岡会長：ほかに発言を許したがなく、一同異議なく了承し、以上で(2)を終結した。

(3) 2021 年度学校給食費について

北堀所長：資料【学校給食費】をもとに、2020 年度と同額の給食費とすることを説明。

浜岡会長：委員に発言を許したがなく、以上で(3)を終結した。

(4)2021 度からの学校給食費の徴収について

村石補佐：須坂市学校給食費徴収規則が 12 月に公布され、1 月に保護者へお知らせの通知文を配布したことを報告。文科省の「学校における働き方改革に関する（答申）」に沿った対応。学校でなく市教委で徴収事務が 4 月からできるように、銀行やシステム会社と調整を行っていることを説明。

浜岡会長：委員に発言を許したがなく、以上で(4)を終結した。

(5)（新）学校給食センターや給食への願いなど

坂口委員：新しい給食センターの稼働は楽しみで、子どもとの会話でもそのことを話している。箸や弁当箱を家から持っていかなくても良くなり、家庭の負担が減るのはありがたい。

青木委員：多くの子どもたちに施設を見てもらいたいと思う。コロナの影響が少なくなったら、PTAの見学や試食もお願いしたい。栄養教諭のパワーポイントの説明で、朝食を食べない子どもがいることに、衝撃を受けた。仕事の上で、歯科検診の際に、前年から治療を受けていない子どもも見受けられる。育児放棄やネグレクトが推測されるケースもある。

鈴木委員：所属している高甫小学校では、今年から栄養教諭の先生方に来ていただき、食育授業を全学年に拡大した。早いうちに食育をしつかり

やっておくのは、大切だと思った。朝食を食べない子どもは、学年が上がっていくと増える傾向にある。参観日に保護者に食育の授業を見ていただくのも良い。新しい給食センターからの給食を楽しみにしている。

山田委員：栄養教諭が作成した給食センターの教育動画を2本見た。明日3本目を見ます。動画を見て初めて知ることが多くある。給食を作っている作り手の思いが伝わって来る。感謝の気持ちが生じる。また、学校では「生活の記録」に朝食の大切さについて気づけるように朝食と睡眠を記述するようにした。

青木委員：温かい給食が食べられるので、子ども達と楽しみにしています。動画は、見学通路からは見えない調理員さんの手元の作業も良くわかる。

久保委員：この施設の近くに家があるので、とても楽しみにしている。小学校のクラス便りで、給食センターの動画を見ている写真があり、みんなとても楽しみにしている。

高波委員：新センターの準備や、つながる食育の取り組みは大変だと思うが、安全な給食提供ができるよう給食センターと協力していきたい。

浜岡委員：給食センター建設は長年の念願だった。新しい給食センターで実り多い取り組みができることを願います。

教育長：委員の皆さんからのご意見はとても参考になった。食育動画もとても素晴らしい出来栄となっている。動画を見て、職員が注意深く食材を洗っている様子に気づくことができる。たくさんの方が、思いをもって携わっていることに気づくことは大切。新しいセンターの様子も知ることができるよう工夫していきたい。

朝食の摂取は、10%が毎日食べることにつながらない。用意ができていない、食べるものがないなど、学校全体で考えていかなければいけない。栄養教諭が中心に取り組んでいる食育を、各学校での食育推進につなげていけるとよいと思う。

浜岡委員：食は、人を良くすると書きます。学校ではいろいろな教科で食育について学べます。学校、教育委員会、栄養教諭の関係を密に進めていただきたい。

以上で(5)を終結した。

(6) その他

齋藤総括：本来は昨年8月オープンでしたが、半年遅れてのスタートになりました。

す。最新機器を使用して調理を行いますが、全従業員一丸となって準備を進めています。おいしい給食を作っていきたい。

浜岡会長：他に発言を許したがなく、以上で(6)を終結した。

4. 事務連絡 …事務局、委員に発言を許したがなく、以上で4を終結した。

5. 閉 会 …北掘所長